

# 令和7年度地区懇談会資料

令和8年1月28日（水）～2月6日（金）

---

私たちは、食と農を守り

組合員と地域に愛されるJAをめざします



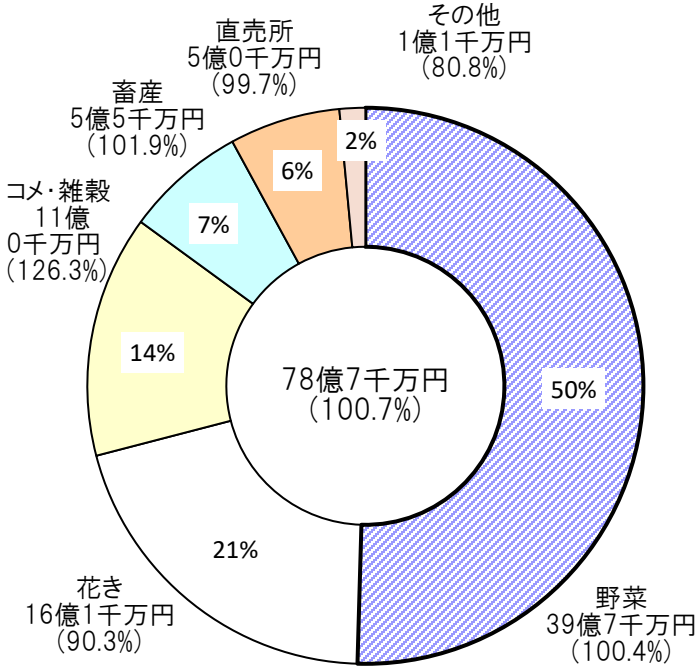
# 目 次

1. JAの事業概況と自己改革の取組みについて
2. 令和8年度事業計画樹立基本方針について
3. 総代選出の課題検討について
4. 連絡事項
  - (1) 准組合員の組合員訪問活動の見直しについて
  - (2) 次期ポイント制度への移行について

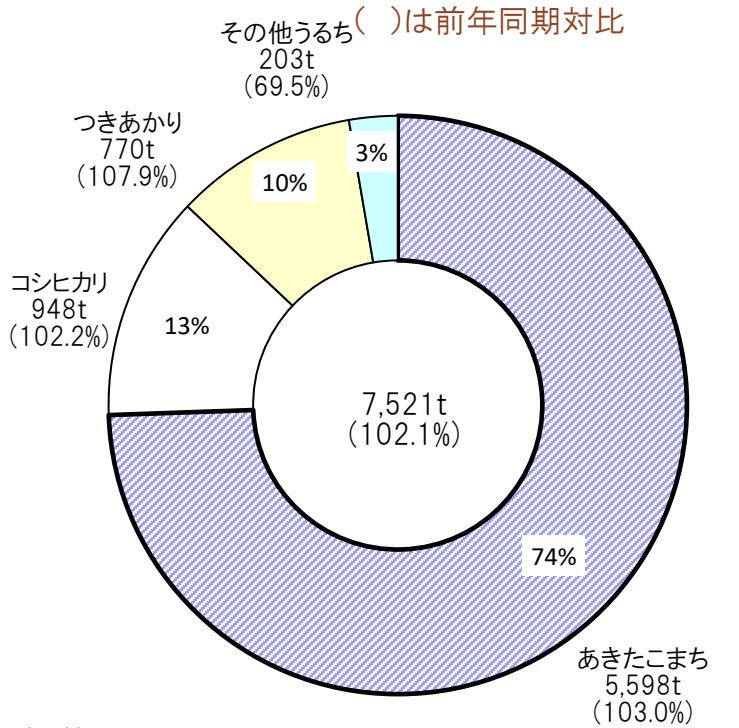
# 1. JAの事業概況と自己改革の取組みについて

## (1) 令和7年度第3四半期（11月末）事業概況

① 販売品総額（ ）は前年同期対比



② 7年産米品種別集荷数量



④ コメ価格の推移（JA長野県安心基準米価格）

コシヒカリ				あきたこまち				つきあかり				その他うるち			
年産	仮渡金	精算金	計	年産	仮渡金	精算金	計	年産	仮渡金	精算金	計	年産	仮渡金	精算金	計
R5	11,760	1,668	13,428	R5	11,340	1,363	12,703	R5	10,920	1,226	12,146	R5	10,800	1,139	11,939
R6	15,600	未定※	15,600	R6	15,180	未定※	15,180	R6	15,000	未定※	15,000	R6	14,820	未定※	14,820
R7	27,540	未定	27,540	R7	27,120	未定	27,120	R7	27,000	未定	27,000	R7	26,520	未定	26,520

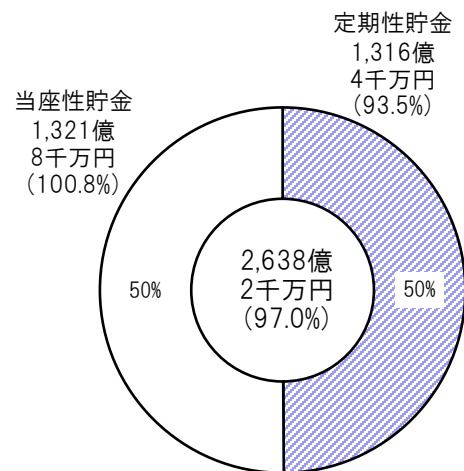
※R6年産米は令和7年7月に60kg当たり3,000円の追加支払いを行っています。

③ 販売品の内容

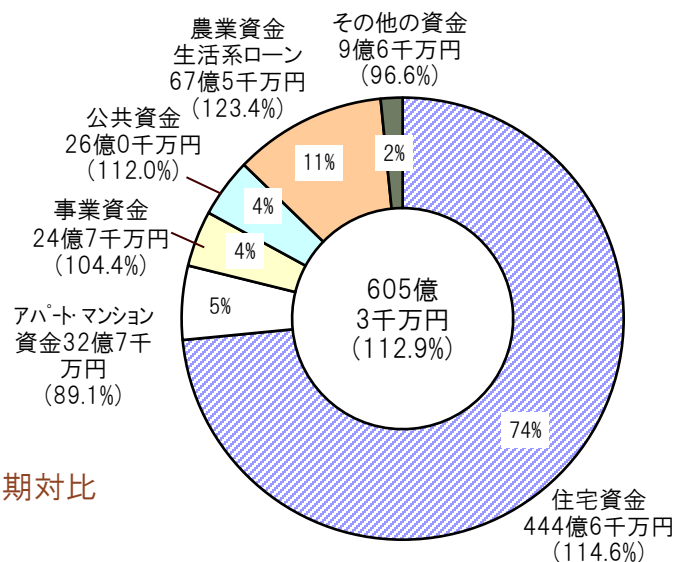
(単位:百万円)

品 目		金 額	前年差額	品 目		金 額	前年差額
野 菜	セルリー	1, 875	△0	花 卉	カーネーション	380	△ 75
	ブロッコリー	914	+73		スターチス類	212	△ 9
	キャベツ	215	△ 67		きく	277	△ 75
	ほうれん草	87	+0		宿根カスミ草	142	+0
	パセリ	238	△ 54		トルコギキョウ	262	△ 28
	ズッキーニ	123	+12		りんどう	35	△ 11
	だいこん	16	△ 10		アルストロメリア	222	+47
	きゅうり	66	+6		その他花き	82	△ 18
	エンダイブ	34	△ 3		小 計	1, 614	△ 171
	その他野菜	400	+62	コ メ・雑 穀	1, 109	+231	
小 計		3, 973	+18	畜 産		553	+10
				直売所受託販売		507	△ 1
				き の こ		18	△ 5
				果樹・買取販売品		99	△ 22
				合 計		7, 876	+60

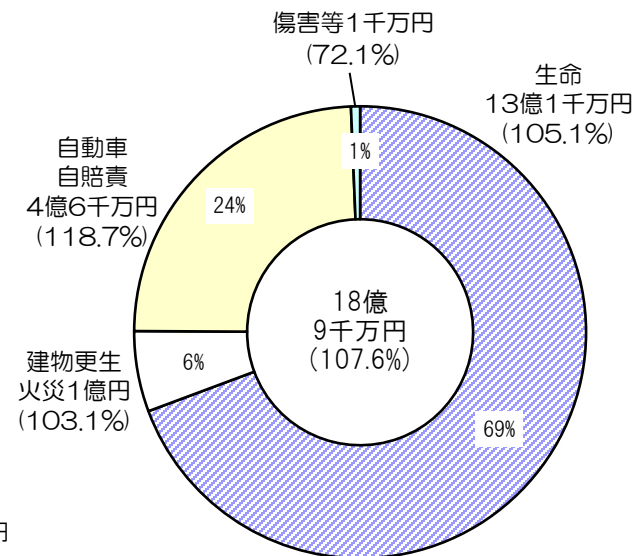
⑤ 貯金総額 ( )は前年同期対比



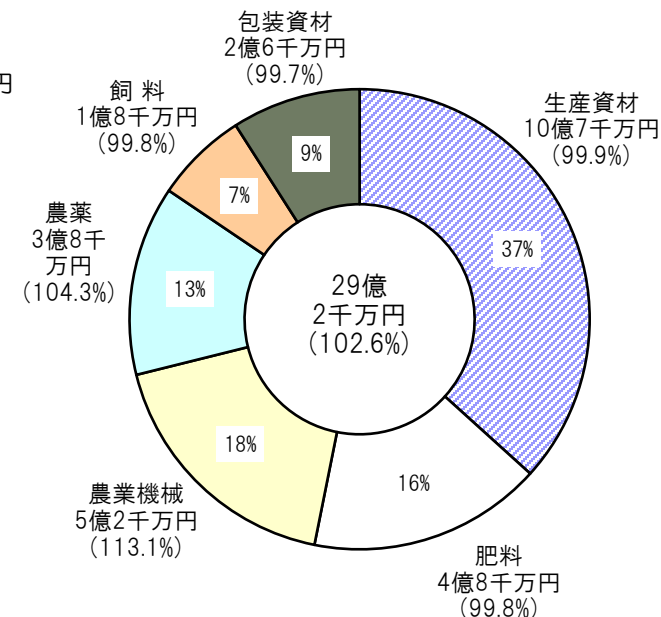
⑦ 貸出金総額 ( )は前年同期対比



⑧ 共済金支払実績 (事故) ( )は前年同期対比



⑨ 生産購買取扱高 ( )は前年同期対比



⑥ 投資信託残高 ( )は前年同期対比

67億5千万円 (132.7%)  
全国529JA中 10位 (令和7年11月時点)

⑩ 組合員数

	人 数	戸 数
正組合員	7,966人(期首比△181人)	7,018戸(期首比△191戸)
准組合員	14,631人(期首比+205人)	10,671戸(期首比+84戸)
合 計	22,597人(期首比+24人)	17,689戸(期首比△107戸)

⑪ 出資金 年金振込額 A・コープ利用額

	金 額
出資金額	58億0千万円(期首比△7千万円)
年金振込額	116億9千万円(前年比+8千万円)
<参考>A・コープ利用額	55億6千万円(前年比+1億2千万円)

⑫ 職員数

	人 数
正職員	397人(期首比△1人)
臨時・パート	131人(期首比△8人)
合 計	528人(期首比△9人)

## (2) 自己改革実践サイクルについて

① 農業者の所得増大・農業生産の拡大			
重 点 項 目(細目)	目 標 指 標	目 標 値	
		令和7年度計画	令和7年度 11月末実績(暫定)
新規就農者・新規認定農業者・新規生産部会加入者の確保と担い手育成支援、長野県労働力支援センターと連携した農業労働力確保への支援	新規就農者数	2名	2名
	新規認定農業者数	10名	10名
	新規部会加入者数	20名	24名
	1日農業バイト マッチング件数	400件	613名
持続可能な農業への取組み	販売額	98.2億円	78.7億円
農業生産基盤づくりによる農業生産の 維持・拡大	融資で後押しががんばる農家応援事業Ⅲ 【予定助成額】	25,000千円	7,194千円
	農業振興サポート事業 【予定助成額】	25,000千円	19,104千円
	鳥獣被害防止対策支援事業 【予定助成額】	1,700千円	1,647千円
	特定農機具購入支援事業 【予定助成額】	5,200千円	4,700千円

## ② 協同活動の実践・展開による組織基盤の強化

重 点 項 目(細目)	目 標 指 標	目 標 値	
		令和7年度計画	令和7年度 11月末実績(暫定)
組合員の運営参画・活動参加意識の醸成	満足度	80%以上	88.4%
組織広報活動の実践	支所だより年間発行回数	12回	9回
JA応援団づくりの取組み	新規組合員加入人数	450名	536名
関係組織段階の加入促進と基盤強化	新規部員数	20名	14名

## ③ 対話・意思反映・経営基盤の強化

重 点 項 目(細目)	目 標 指 標	目 標 値	
		令和7年度計画	令和7年度 11月末実績(暫定)
組合員の声を聴き、JA運営へ反映させる取組み	JA's民アンケート	3,000件	2,027件
組合員および各組合員組織対応を強化した支所機能の発揮	各種来店・参加ポイント	次期ポイント制度の準備	次期ポイント制度の準備
経営指標項目の達成	総資産利益率	0.18%以上	0.21%
	事業管理費率	95.4%以下	90.3%
	労働分配率	68.8%以下	64.5%

## 2. 令和8年度計画について

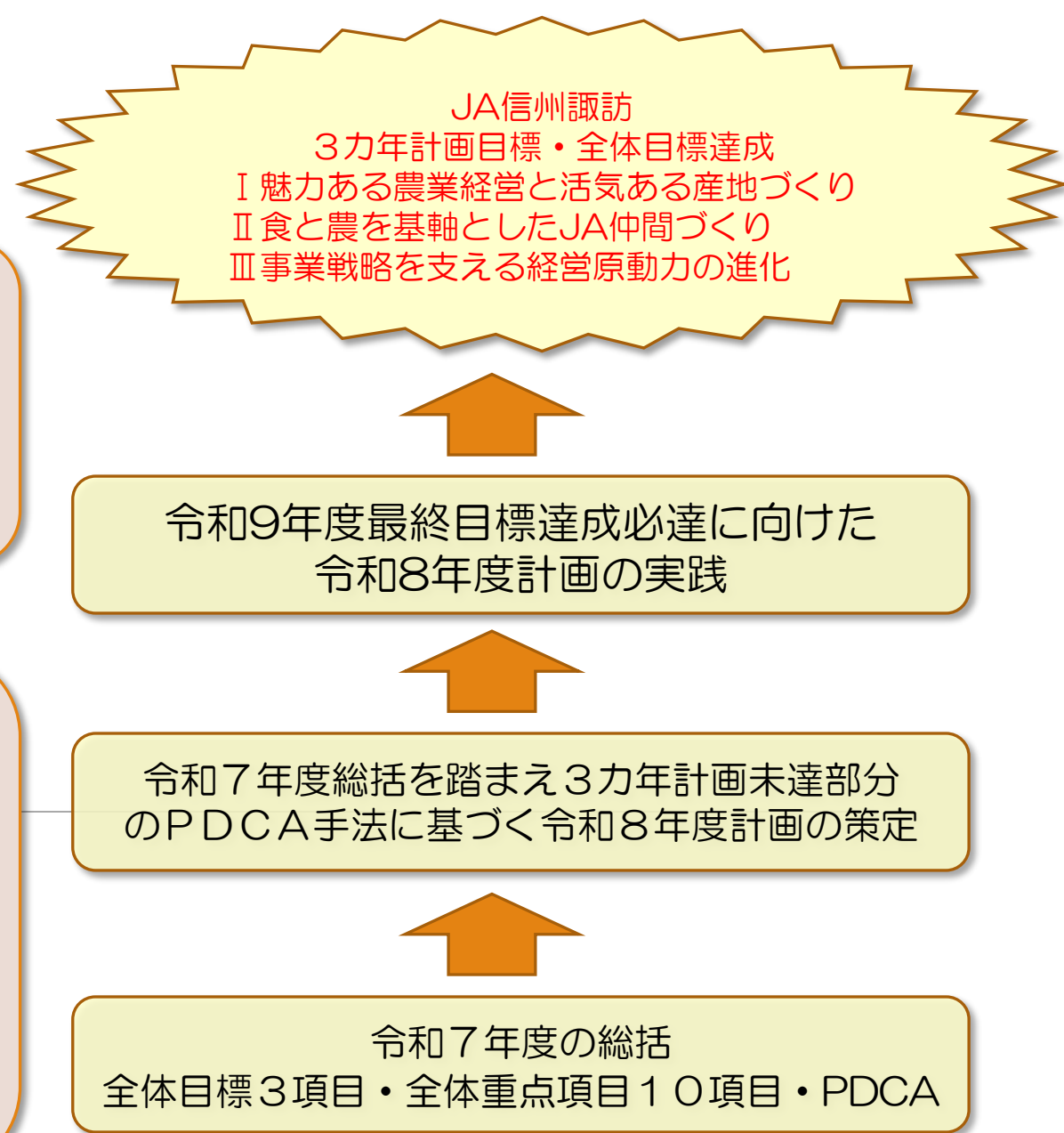
### (1) 事業計画樹立基本方針

3カ年計画（令和7年度～令和9年度）の2年目となる令和8年度においては、3カ年計画の初年度である令和7年度の進捗を確認し、令和9年度に3カ年計画が達成できるよう必要な行動計画を見直し実践する必要があります。

自己改革目標および令和7年度決算の見込を検証するとともに、3カ年計画達成に向け令和7年度のPDCA中間総括を行い、修正が必要な行動計画を洗い出します。「何を修正すべきか」「どのように修正すべきか」「どれくらい修正すべきか」について、PDCA手法に基づく行動計画を検証し、令和9年度最終目標達成のための令和8年度の事業計画を策定します。

#### 重点項目（令和8年度）

- (1) 農業所得向上に向けた生産維持拡大のための支援と、営農指導体制の強化による農業振興に取組みます。
- (2) 持続可能な集出荷施設の整備のため、手数料と利用料の見直しを行い、マーケティング強化により販売環境に左右されない安定販売に取組みます。
- (3) 組合員のニーズに対応できる生産購買事業を展開し、生産者のトータルコスト低減と手取り向上に取組みます。
- (4) 組合員組織基盤強化のため、協同活動を通じて多様な世代・組織にアプローチします。
- (5) 組合員利用者に選ばれ一層必要とされるJAバンクとして、農業・地域に貢献します。
- (6) JA共済の輪を次世代層へ広げる事業展開と契約者満足度向上に向けた取組みにより、組合員および地域の皆様へ万全な保障を提供します。
- (7) 「組合員の声を聴く」取組みをすすめ、組合員の意向を把握しJA運営に反映します。
- (8) 将来にわたり総合事業を営み、「なくてはならないJA」として地域の農業振興のため、安定したJA経営に取組みます。
- (9) 多様性を活かして働く組織への進化に取り組めます。
- (10) 不祥事未然防止のため内部統制の整備と運用をすすめるとともに、会計監査人監査および監事監査と連携しつつ試査範囲を明確にした三様監査を実施します。





### 3. 総代選出の課題検討について

#### (1) 経過と現状

現在の総代定数は平成27年度第11回通常総代会で総数647名から515名に改正して以来、現在の定数となっています。前回見直しは正組合員20名に対し1名の総代の割合で検討され、現在の地区別総代数となっています。近年の地区懇談会や支所運営委員会でも、各地区の正組合員の減少に伴い選出が厳しい旨の意見が出されています。こうした現状を踏まえ、今年度の下期支所運営委員会（令和7年12月開催）から課題の整理をはじめ、次回令和10年度の総代改選時に見直しができるよう検討を進めます。

#### (2) 令和7年度下期支所運営委員会が出された意見

- ・ 正組合員が減少しているなか、地区からの総代の選出には大変苦慮している状況である。以前の改選時期にも、農協法での決めがあり、定数については減らせないと回答は承知はしているが、「農協法」改正も働きかけていただきたい。
- ・ 現在、515人となっているが最低人数の500人まで減らせないか。また、地区や集落毎に総代の正組合員比率に差があるので、全体の定数見直しをしたらどうか。
- ・ 総代会をスマホなどオンライン参加できる仕組みとしたらどうか。
- ・ 組合員のメリット、特典をもっと拡充する。総代に対しても特典を付ける。
- ・ 若い世代にもっと理解される取組み、世代交代できる取組みを周知していく。
- ・ 移住者で農産物を生産している方、定年後に農業を始めた方、農業経営者と一緒に農業を行ってる子供（世代交代）等に正組合員加入推進をしたらどうか。
- ・ 女性の総代を各地域から出してほしい。



## 4. 連絡事項

### (1) 准組合員の組合員訪問活動の見直しについて

現在、広報誌「JA's民」は、組合員Myページやホームページでも閲覧が可能となっています。今後は利便性向上を図るため組合員Myページ登録・利用促進等を踏まえ、下記の通り准組合員への訪問活動の見直しをさせていただきますのでご理解くださいますようお願いいたします。なお、正組合員への訪問活動は引き続き行います。

#### 変更内容

ア 准組合員へ毎月お届けしております広報誌「JA's民」は、令和8年5月号より、WEB版での発行に切り替えます。

イ 組合員Myページから広報誌「JA's民」をご覧いただくことが出来ます。今後、JAからのお知らせは、組合員Myページで配信しますので、正組合員の方も含め組合員Myページをご登録されていない方は、この機会にご登録をお願いいたします。登録方法はチラシをご覧ください。

ウ 広報誌「JA's民」は、当JAのホームページ(<https://www.ja-suwa.iijan.or.jp/>)からもご覧いただけます。

エ 広報誌「JA's民」を誌面でご覧になりたい方は、支所・営業所に配置しております。支所・営業所にご来店の際にお持ち帰りいただくこともできます。

オ 12月には、当JA オリジナルカレンダーも支所・営業所に配置しますので、ご来店の際にお持ち帰りいただくこともできます。

## 4. 連絡事項

### (2) 次期ポイント制度への移行について

- ① 現在のJA信州諏訪ポイントサービスについては、令和8年2月末をもって終了となります。最終的なポイント残高は、令和8年4月中旬に全額原則出資配当口座へキャッシュバックし終了となりますのでご了承ください。
- ② 令和8年3月1日からは、新総合ポイントサービスへ移行します。
  - ・ 組合員の方は自動的に新総合ポイントサービスの会員に登録されますが、一部のポイント付与およびポイントの利用についてはポイントアプリの登録が必要となります。
  - ・ ポイントアプリの登録には組合員様毎の「認証コード」が必要になります。認証コードについては、3月上旬にはがきで全組合員に郵送でお知らせしますので確認の上登録をお願いします。
  - ・ ポイントアプリの登録方法は別途3月の広報誌および上記お知らせはがきでご案内します。
  - ・ 新ポイント制度では、組合員以外の方もアプリを登録すれば会員登録ができますが、組合員とポイント付与率および付与項目が異なりますので組合員加入をお勧めします。
  - ・ ポイント付与基準およびポイント利用方法については次ページ以降をご確認ください。

### ③ 新ポイント制度ポイント付与基準一覧

\*1 旧組合員ポイントカードは青色の「JA POINT CARD」です。

\*2 Aコープakubo会員年間ご利用額付与ポイントは、旧友の会会員番号とakubo会員番号の連携処理を行った方または、ポイントアプリでakubo会員連携処理を行った方のみとなります。

ポイント付与項目(付与タイミング)	組合員		員 外
	アプリ登録あり	アプリ登録なし	アプリ登録あり
現金生産購買品購入ポイント(随時)	1回の買い物200円ごとに1ポイント (当面旧組合員ポイントカード(*1)・TELも可)	× (当面旧組合員ポイントカード(*1)・TELも可)	1回の買い物1,000円ごとに1ポイント
未収生産購買品購入ポイント(随時) (予約購入・クレジットカード購入除く)	1回の買い物200円ごとに1ポイント	1回の買い物200円ごとに1ポイント	1回の買い物1,000円ごとに1ポイント
夢マーケット購入来店ポイント(随時)	来店し購入した際1日1回5ポイント	×	来店し購入した際1日1回1ポイント
JAカード年間決済額ポイント(年)	年間決済額200円に対し1ポイント	年間決済額200円に対し1ポイント	年間決済額1,000円に対し1ポイント
農業新聞年間購読ポイント(年)	1年間継続購読で120ポイント	1年間継続購読で120ポイント	×
家の光年間購読ポイント(年)	1年間継続購読で100ポイント	1年間継続購読で100ポイント	×
地上・ちゃぐりん光年間購読ポイント(年)	1年間継続購読で50ポイント	1年間継続購読で50ポイント	×
女性部・青壮年部 会員ポイント(年)	1年間継続会員の方に50ポイント	1年間継続会員の方に50ポイント	×
組合員加入時ポイント (※ 新ポイント制度スタートキャンペーンとしてR8年度期間限定)	新規加入500ポイント 相続加入100ポイント (※ 新規2,000P／相続100P)	新規加入500ポイント 相続加入100ポイント (※ 新規2,000P／相続100P)	×
Aコープakubo会員年間利用額ポイント(年)*2	年間ご利用額1,000円に対し1ポイント	年間ご利用額1,000円に対し1ポイント	×
支所運営委員会参加ポイント(随時)	1回200ポイント	1回200ポイント	×

#### ④ 新ポイント制度 ポイントのご利用方法

新ポイント制度のポイント利用方法は、利用者がアプリから都度下記の利用方法を選択することでご利用することができます。

ポイント利用方法	組合員		員 外
	アプリ会員	アプリなし	アプリ会員
生産資材・直売所での購入代金から値引 500ポイント単位又1,000ポイント単位でポイント分値引します (ポイントの付与はポイント値引き前の購入金額に対して付与されます。)	○	×	○
まごころ商品券交換 3,000ポイントで5,000円分のまごころ商品券と交換	○	×	○
キャッシュバック 500円単位でキャッシュバック	○ 自JA口座のみ	×	○ 自JA口座のみ

※ 従来のポイント制度のような一律自動キャッシュバックは行いませんが、アプリ未登録者への暫定措置として初回失効時(令和10年2月末)のみ、失効ポイント相当額の50%を一律キャッシュバックする予定です。

# 組合員Myページ（あい作グループ+ ）登録方法

## ステップ1：アカウント登録

## 新規ユーザ登録方法～LINE編～

※メール編又はLINE編どちらか一つの方法で登録をお願いします。

カメラアプリ

WEBブラウザ（Safari:iPhone, Chrome:Android）

LINEアプリ

[1]  
QRコードを読み取る



※LINEアプリをインストール済みの端末で実施してください  
※標準のカメラアプリなどで読み取ってください  
※読取れない場合は以下を直接ご入力ください  
[https://supportweb01.nd-agri.jp/ja\\_suwa?id=registration\\_choice](https://supportweb01.nd-agri.jp/ja_suwa?id=registration_choice)

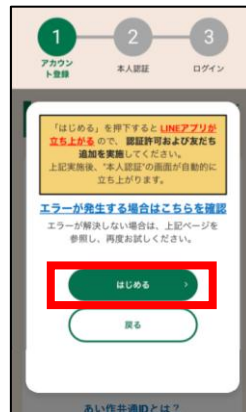
[2]  
「LINEから登録」を選択



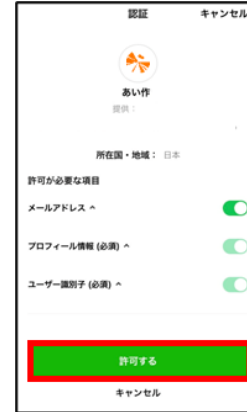
[3]  
「アカウントを登録する」を押下



[4]  
「はじめる」を押下



[5]  
「許可する」を押下



[6]  
「友だち追加」を押下



## ステップ2：本人認証

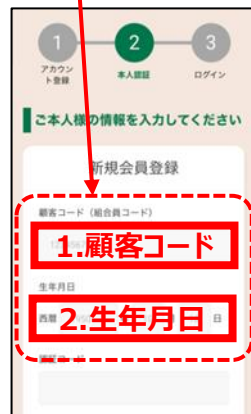
## ステップ3：ログイン

WEBブラウザ（Safari:iPhone, Chrome:Android）

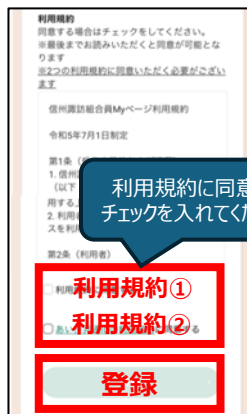
アプリストア

あい作グループ+アプリ

[7]  
以下項目を入力



[8]  
利用規約に同意後、  
「登録」ボタン押下



利用規約に同意し、  
チェックを入れてください。

利用規約①  
利用規約②  
登録

[9]  
「アプリでログイン」  
ボタン押下



iPhone  
の場合

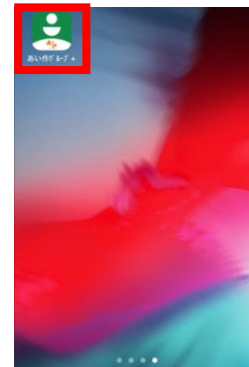
Android  
の場合



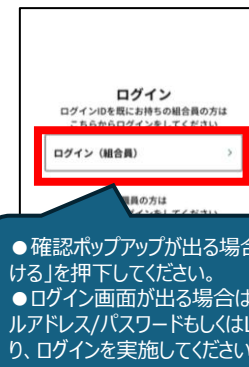
アプリがダウンロード済みの場合は、  
直接あい作グループ+が立ち上がります

[10]  
ストアで「あい作グループ+」をインストール

[11]  
ホーム画面「あい作グループ+」のアイコンを押下



[12]  
「ログイン（組合員）」  
を押下



●確認ポップアップが出る場合は「続ける」を押下してください。  
●ログイン画面が出る場合は、メールアドレス/パスワードもしくはLINEより、ログインを実施してください。

ログイン  
成功



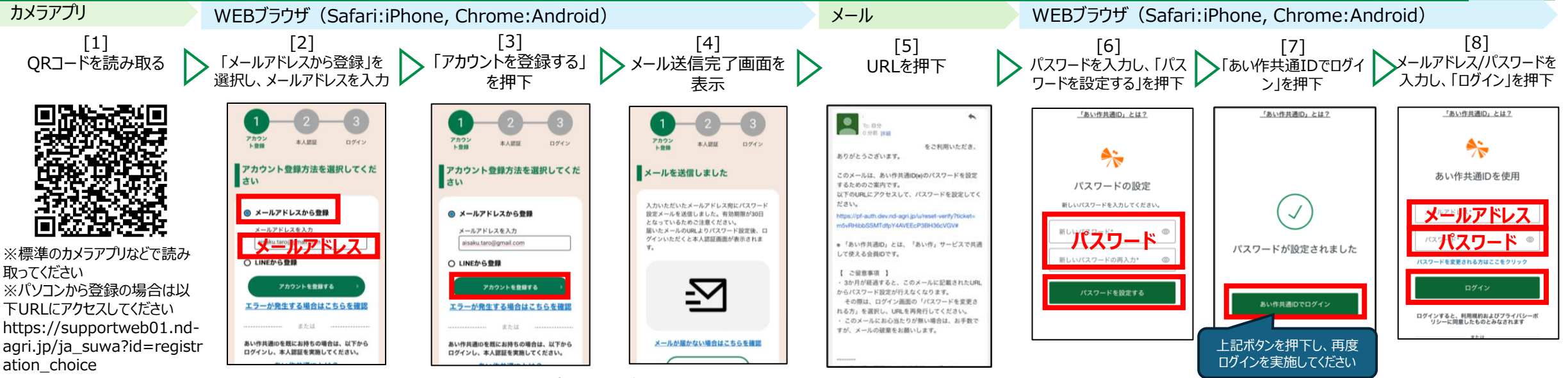


# 組合員Myページ（あい作グループ+ ）登録方法

## 新規ユーザ登録方法～メール編～

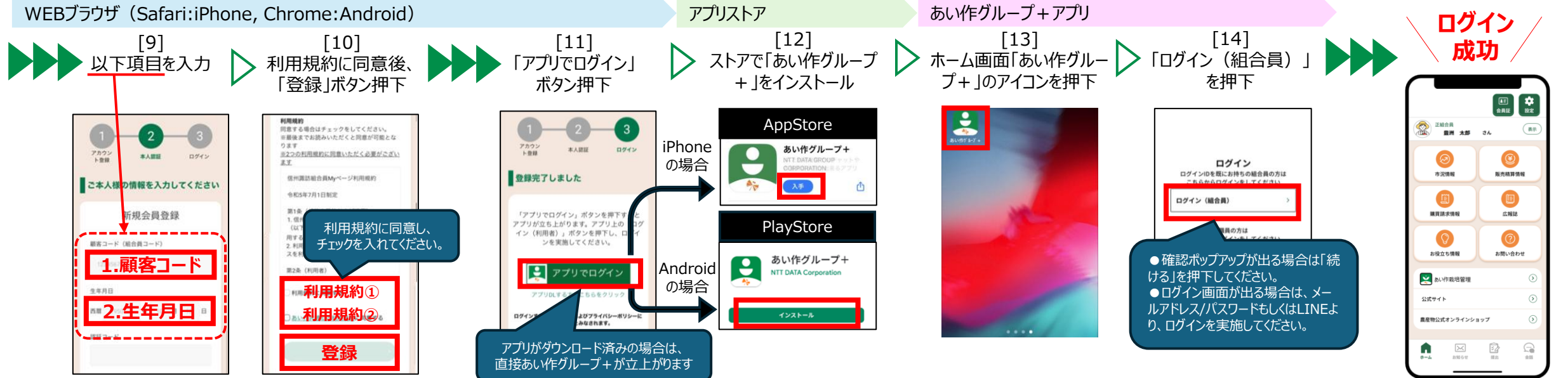
### ステップ1：アカウント登録

※メール編又はLINE編どちらか一つの方法で登録をお願いします。



### ステップ2：本人認証

### ステップ3：ログイン





# ●▲ 不断の自己改革の取り組み

## 農業所得増大へさらなる挑戦

### 【融資で後押しがんばる農家応援事業Ⅲ】

農業所得の増大や気象変動に強い安定的な農業経営を持続するため「融資で後押しがんばる農家Ⅲ」を実施し農家を応援しています。令和7年度は、申請8名 7,194 千円の助成を予定しています。

### 【農業振興サポート事業】

農業生産基盤づくりによる農業生産の維持拡大と生産販売額の維持確保を目的に、JA で指定した農業資材等の購入支援を行う事業です。令和7年度は、申請 1,255 件 19,104 千円の助成を予定しています。

### 【鳥獣害被害対策支援事業】

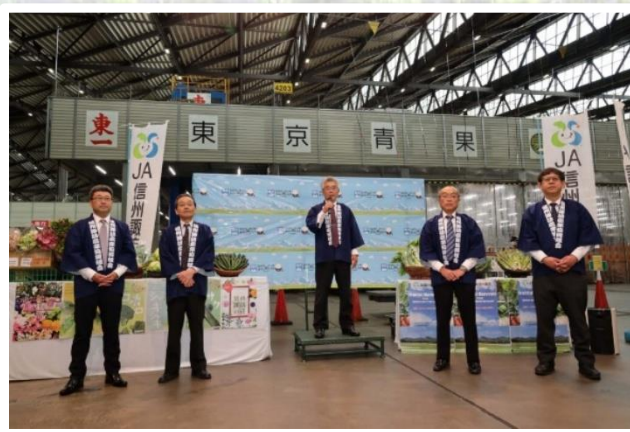
「JA 共済地域・農業活性化促進助成金」を活用し、組合で認めた電気柵、防獣網、防鳥網を対象に、1 件につき上限 7 万円の助成を行う事業です。令和7年度は、申請 45 件 1,647 千円の助成を予定しています。

### 【農機レンタル事業】

平成 28 年度からスタートした「農機レンタル事業」、様々なご要望に応えられるよう農機具・種類を増やしてきました。現在は、トラクター・管理機・刈払機・わら切りカッター・ハンマーナイフモア・ウッドチップパー・エンジン式オーガ・カットブレーカー・高所作業機をご用意しています。

### 【トップセールス 開催】

JA 信州諏訪は 5 月 15 日・16 日、東京で野菜・花きのトップセールスを行いました。小平淳組合長ら JA 役職員 9 人が「諏訪地域は、標高の高さを生かした高品質な野菜・花きを栽培できる総合供給産地」と力強く PR。令和7年度の販売目標達成に向け市場関係者と意思統一を行い、信州諏訪産の農産物売り込みました。



## 自己改革目標

- 総合事業による収益確保で農業関連事業を支え、農業所得増大に向けて経営資源を投入します
- JA ファンを広げる組織的広報活動を展開し、農に根ざした地域経済への貢献で存在価値を高めます

## スマホでもっと便利に！

## JA 信州諏訪 DX の取り組み

生産者・組合員の利便性の向上と事務効率化のため、スマートフォンから操作可能な各種サービスを提供しています。

【組合員 My ページ】 青果・花きの品目ごとの市況情報が閲覧できるほか、販売明細書・直売御支払精算書・購買品請求明細書、JA からのお知らせ、「月刊 JA's 民」等の閲覧ができます。4 月からはアプリも登場し、チャット形式で JA からのお知らせが確認できる便利機能も追加されました。

【資材 Web 受注システム】 生産資材の予約注文を Web 上から注文できます。紙注文書の提出の必要がなくスマホや PC から直接注文可能です。

【あい作栽培管理システム】 野菜の栽培日誌をデジタルで管理することができます。安全安心の紙栽培日誌の提出の必要がなく、スマホから農薬の使用状況による出荷の可否判定が可能です。（直売所除く）

【フレッシュ(出荷予約システム)】 出荷予約を集荷所等で記載する必要がなく、スマホから入力することで出荷予約が可能です。8 月より一部生産部会で先行運用を始めています。

【JA バンクアプリ(アプリ+)】 普通貯金口座の履歴照会、ネットからの振り込み、JA バンクアプリでは、投資信託の購入、照会ができます。

【JA 共済 Web マイページ】 自分の共済加入状況の閲覧、住所変更等の各種変更手続き（一部除く）がスマホから行えます。

【JA うちエネポータル】 (株)あぐりライフで提供している、ガス、おまかせ灯油、JA でんきの使用量(検針票)等が閲覧できます。





# 不断の自己改革による組織・経営基盤の確立



JA では毎年地域の小学生・JA 役職員・地域の組合員のみなさんと一緒に稲作体験活動に取り組んでいます。春の田植えから秋の稲刈り・脱穀まで1年を通した稲作体験を通じて、食農教育はもちろんのこと、地域の子供たちや組合員・地域住民との交流を深め、協同活動の理解と促進に取り組んでいます。令和7年度は、茅野市で昨年から引続き取り組んでいる、金沢小学校・湖東小学校・豊平小学校に加え、米沢小学校・玉川小学校でも支援の輪を広げました。また、諏訪市、岡谷市では、昨年からの引続き、四賀小学校、岡谷田中小学校・長地小学校の稲作体験を支援しました。

## 第21回 JA 信州諏訪農業祭



第21回 JA 信州諏訪農業祭を9月から10月にかけて岡谷市会場をかわきりに各市町村で行いました。組合員の皆さんや地域の皆さん、大勢の皆様にご来場いただき盛大に開催することができました。



## 花育・地域貢献活動

児童・園児と花育活動

各支所・営業所 地域貢献活動



茅野市の泉野小学校と湖東小学校の新1年生への入学祝いのチューリップ贈呈式を支援しました。両校の2年生が、令和6年秋からJAの指導を受けながらプランターで育ててきたものを1年生に手渡し、皆で開花を喜び合いました。



富士見・原地区保育園で花育活動を行いました。本郷保育園では、年中・年長の園児31人が参加。泥ダンゴをつくり、マリーゴールドなど花の種を5粒つけ、プランターに植えました。



富士見高原医療福祉センター特別養護老人ホーム恋月荘と特別養護老人ホーム紅林荘で花苗の定植を行いました。役職員や女性部員、施設職員が参加。